

事業番号	12 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	調達事務合理化事業費	部局	会計局	課・室	契約・検査課	
		実施期間	H24 ～	E-mail	keiyaku-kensa @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題 県庁内で発注する製造の請負（印刷等）及び物件の買入れの入札契約事務については、公告から契約者の決定までを一括して行う集中調達事務を行い、効率化に取り組んでいる。 近年、暮らしの利便性や中小企業の生産性の向上のため行政事務のオンライン化が要請される中、入札・契約分野のオンライン化（DX化）を市町村や企業とともに推進する必要がある。

2 事業目的 契約における公平性、透明性を確保しつつ、受注者及び発注者の負担軽減となる契約事務の効率化を図る。
--

3 事業目的を達成するための取組 ① 電子入札及び入札参加資格申請受付システムの運用管理 入札及び入札参加資格申請受付において、市町村と共同利用する電子システムの運用管理を実施。 入札参加資格申請については、受注者や市町村の負担軽減のため、審査項目の統一化を図り、県が一括して受け付け、共通項目の審査を行う。 ② 契約管理システムの運用管理 適正な契約事務執行のため、発注案件の起案、データ管理等を行う契約管理システムの運用管理を実施。

The diagram illustrates the transition from a paper-based system to a digital system for bid submission and qualification application. It is divided into two main sections: 'システム導入前' (Before System Introduction) and 'システム導入後' (After System Introduction).

システム導入前 (Before System Introduction):

- 入札・見積 (Bidding/Estimation):** A business (事業者) submits a paper bid and estimate to a local government (自治体). The local government then forwards the paper documents to the prefecture (県) for review and processing.
- 入札参加資格申請 (Bid Participation Qualification Application):** A business submits a paper application to a local government, which then forwards it to the prefecture for review.

システム導入後 (After System Introduction):

- 入札・見積:** A business submits an electronic bid (電子入札) directly to the prefecture. The need for paper documents and local government intermediaries is eliminated.
- 入札参加資格申請:** A business submits an electronic application (電子申請) to a common reception window (共同受付窓口) at the prefecture, which then conducts a unified review (一括受付 共通審査) and individual reviews (個別審査等).

電子入札・入札参加資格申請受付システムのイメージ

4 成果指標			(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし ― : 数値なし)							
No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
	指標なし									

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標											
No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1②	デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現										

6 事業コスト						(単位：千円、人)	
区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	71,243	△ 2,000	69,243	69,243	67,965	5.5
R6年度	0	46,105	0	46,105	42,695	44,718	5.0
R5年度	0	1,667	0	1,667	1,667	1,481	5.0

事業番号	12 02 02	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	調達事務合理化事業費	部局	会計局	課・室	契約・検査課	

7 主な取組実績と成果

① 電子入札及び入札参加資格申請受付システムの運用管理

電子入札システム及び入札参加資格申請受付システムを導入し、当該システムを用いた調達事務、審査事務を行うとともに、システムの円滑な運用に必要な保守管理業務を実施した。

電子入札システム利用案件 R 7 年度 1,747件
令和 7 年度～令和 9 年度 入札参加資格申請 受理件数 8,856件

② 契約管理システムの運用管理

契約管理システムの円滑な運用に必要な保守管理業務を実施した。

システム利用件数 R 7 年度 3,122件

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	指標なし	R6年度推移	R7年度推移	達成状況

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和 6 年 8 月に稼働を始めた電子入札システムについては、既存パッケージ品を改修したシステムであり、契約管理システムと連携させて運用するものであるが、システム間の連携やシステム動作が不安定といったユーザビリティの低さを改善していく必要がある。
- ・入札参加者の負担軽減や事務の効率化の観点からも電子入札による発注を更に増やしていく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・システム開発者に委託する電子入札システム運用支援業務により、システム間の連携やシステム動作が不安定といった障害が発生した場合は速やかに障害の改善を図る。
- ・電子入札による発注を増やすため、職員に対して電子入札の積極的な活用について周知を行うほか、電子入札の原則化について検討を行う。

事業番号	12 02 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	調達事務合理化事業費			部局	会計局	課・室	契約・検査課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	調達事務合理化事業費		1,481 千円	44,718 千円	67,965 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	電子入札システム・入札参加資格申請受付システム保守管理業務	委託	当該システムの円滑な運用に必要な保守管理業務を実施		
			電子入札システム利用案件 1,747件 入札参加資格申請 受付件数 8,856件		
2	契約管理システム保守管理業務	委託	契約管理システムの円滑な運用に必要な保守管理業務を実施		
			システム利用件数 3,122件		